

第二十一回「心の花賞」発表

第二十一回「心の花賞」受賞作

倉石理恵「キキはほうきと」

正賞 賞状および『佐佐木信綱全歌集』

副賞 佐佐木幸綱色紙

次席

花美月「下がり眉」

水口奈津子「自転車漕ぐ」

選者賞 各選者の著書、記念品

選考委員（選者）

佐佐木幸綱、奥田亡羊、駒田晶子、田中拓也、俵万智

選考経過

①応募総数 八十六

②コロナ禍のもと去年に引き続き、メール、ズームによる選考となった。佐佐木幸

綱、奥田亡羊、駒田晶子、田中拓也、俵万智の各選者が十編を選んで投票。票の入った二十六編を予選通過作とした。その中から三編を選んで再投票し、得票のあった九編を本選考対象作（○印）とし、合議の上、複数票を獲得した五編（◎印）を対象にベスト1を選び、推薦事由を添えて投票。結果は花美月作二票、倉石理恵作二票、水口奈津子作一票だった。二票を獲得した花美月作と倉石作を最終候補として七月三十一日にズーム最終選考会を開き、倉石理恵作を心の花賞に決定。しかし、花作、水口作を推す声も強く、今回は次席を設けて二作を特別に表彰することとなった。

予選通過作

◎安野ゆり子「イルカのオブジェ」

◎奥村知世「コサーージュ」

今泉摩美「春の水紋」

◎花美月「下がり眉」

服部崇「うすく開けば」

島田節子「鼓笛隊の街」

碓博視「聖シテコルベの部屋」

福永昭子「優しく扶る」

松元雅子「ナバージュの苺」

遠谷キヨ「永遠に続く夜中」

◎桜望子「桜桃の国」

◎倉石理恵「キキはほうきと」

◎水口奈津子「自転車漕ぐ」

滝澤政雄「曇ってくれたら」

山口和賀子「ソサエティ5.0」

廣間菜月「遷移のように」

久永草太「悲しみ方」

山中蓄「揺籃歌」

曲渕江里子「百年老店」

辻尾修「こども水底」

◎十亀弘史「燕を見た日」

神戸貴雅「平和のバランス」

北川秀子「クワッドアクセル」

本田真奈美「還りゆく舟」

◎金有美「塑像」

◎新留紀代美「じゃあまたね」